

2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年2月14日

上場会社名 大阪油化工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4124 URL <https://www.osaka-yuka.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 哲平
 問合せ先責任者(役職名) 取締役業務部長 (氏名) 島田 嘉人 (TEL) 072-861-5322
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の業績(2018年10月1日~2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	259	10.3	13	△65.8	13	△56.6	9	△63.7
2018年9月期第1四半期	235	—	39	—	31	—	25	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	8.81	8.80
2018年9月期第1四半期	25.99	25.18

- (注) 1. 2017年9月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2018年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、2017年10月5日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)へ上場したため、2018年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2018年9月期第1四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	1,740	1,588	91.3
2018年9月期	1,795	1,638	91.2

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 1,588百万円 2018年9月期 1,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	0.00	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	522	6.4	51	△39.1	51	△33.3	34	△36.1	32.20
通期	1,259	3.7	205	1.8	205	7.9	141	22.6	132.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年9月期1Q	1,073,000株	2018年9月期	1,073,000株
2019年9月期1Q	10,106株	2018年9月期	49株
2019年9月期1Q	1,067,578株	2018年9月期1Q	998,012株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和等により、雇用環境の改善や企業収益等の改善が見られ、緩やかな回復基調となりました。

一方、世界経済においては、各国の貿易摩擦を背景に企業業績の一部に陰りが見え、先行きは依然不透明な状況となっております。

化学業界におきましては、一部原材料価格の下落があったものの、資源国や新興国経済の減速懸念、米国の対外政策の影響による為替・株式市場の変化等、依然として先行き不安定な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は3か年中期経営計画（2019年9月期～2021年9月期）を策定しております。

具体的な課題として、

- ①人材の採用及び育成
- ②既存サービスの収益基盤強化
- ③新規サービスの成長
- ④経営管理体制の強化

等に取り組み、長期的な企業価値向上に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、259,805千円（前年同期比10.3%増）となりました。利益面におきましては、本社移転に係る費用の発生や製造及び営業人員等の増強に伴う人件費の増加があったため、営業利益は13,519千円（前年同期比65.8%減）、経常利益は13,874千円（前年同期比56.6%減）、四半期純利益は9,407千円（前年同期比63.7%減）となりました。

なお、当社は精密蒸留事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

当事業の売上区分別の業績は次のとおりであります。

(研究開発支援)

企業の活発な研究開発活動に支えられ、石油関連の研究開発案件は増加しているものの、前第1四半期において、大型スポット案件があったため、工業用材料向け研究開発案件が大きく減少した影響により、研究開発支援売上高は、50,579千円（前年同期比29.6%減）となりました。

(受託加工)

営業人員を増強する等の顧客対応充実に注力したこと及び企業の堅調な生産活動に支えられ、電子材料及び医薬向けの受託案件が増加したことから、受託加工売上高は、205,500千円（前年同期比25.6%増）となりました。

(プラントサービス)

研究開発用途の案件の受注及び以前販売した装置のメンテナンスにより、プラントサービス売上高は、3,725千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ55,827千円減少し、1,740,054千円となりました。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ88,178千円減少し、1,111,460千円となりました。主な要因は、仕掛品が3,679千円増加したものの、売掛金が55,048千円及び現金及び預金が28,979千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べ32,351千円増加し、628,594千円となりました。主な要因は、連続蒸留塔建設工事進行に伴い、建設仮勘定が36,481千円増加したことによるものであります。

②負債

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ5,596千円減少し、152,051千円となりました。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ5,596千円減少し、152,051千円となりました。主な要因は、買掛金が32,023千円増加したものの、未払金が43,111千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ50,230千円減少し、1,588,002千円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上はあるものの、配当の支払いがあったため、利益剰余金が29,218千円減少及び公開買付により自己株式を取得したことで自己株式が21,012千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、2018年11月12日の「2018年9月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	908,725	879,745
売掛金	189,982	134,934
商品及び製品	48,215	41,477
仕掛品	27,966	31,645
原材料及び貯蔵品	12,894	11,472
その他	11,854	12,184
流動資産合計	1,199,638	1,111,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	228,571	230,880
機械及び装置(純額)	211,134	199,911
土地	63,518	63,518
建設仮勘定	29,557	66,038
その他(純額)	31,723	30,210
有形固定資産合計	564,504	590,560
無形固定資産	2,151	2,752
投資その他の資産		
投資その他の資産	35,207	40,901
貸倒引当金	△5,620	△5,620
投資その他の資産合計	29,587	35,281
固定資産合計	596,243	628,594
資産合計	1,795,881	1,740,054
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,527	36,550
未払金	89,534	46,422
未払法人税等	528	2,676
賞与引当金	17,228	4,517
その他	45,829	61,884
流動負債合計	157,647	152,051
負債合計	157,647	152,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,335	346,335
資本剰余金	312,876	312,876
利益剰余金	979,140	949,922
自己株式	△119	△21,131
株主資本合計	1,638,233	1,588,002
純資産合計	1,638,233	1,588,002
負債純資産合計	1,795,881	1,740,054

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高	235,494	259,805
売上原価	117,389	150,721
売上総利益	118,104	109,083
販売費及び一般管理費	78,517	95,563
営業利益	39,586	13,519
営業外収益		
雑収入	9	485
営業外収益合計	9	485
営業外費用		
株式交付費	4,013	—
固定資産除却損	3,610	—
その他	2	131
営業外費用合計	7,625	131
経常利益	31,971	13,874
税引前四半期純利益	31,971	13,874
法人税、住民税及び事業税	152	889
法人税等調整額	5,876	3,576
法人税等合計	6,028	4,466
四半期純利益	25,942	9,407

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式10,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において単元未満株式の買取による取得も含めて自己株式が21,012千円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が21,131千円となっております。